

模範解答

令和五年度

けんさ

学力検査問題

【国語】

点 / 50点

- ・ 検査けんさの時間は四十分です。
- ・ 答えは、解答欄かいとうらんに書きなさい。
- ・ 受検番号じゅけんばんごう、氏名しめいを下に記入しなさい。

じゅけんばんごう 受検番号	
し 氏	めい 名

① | のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。

② そうこの整理をする。

③ 行動をとにもにする。

④ お店ででんぴようを書く。

⑤ 目印をつける。

⑥ 自転車の荷台。

⑦ 木材を切り出す。

もくざい	にだい	めじるし	伝票	共	倉庫
------	-----	------	----	---	----

⑧ ローマ字で書かれた言葉をひらがなに直しなさい。

例 t e g a m i

てがみ

① k a w a

かわ

② h a k u s y u

はくしゅ

③ g a k k i

がっき

③ ^ ^ の言葉を文に合う形に変えて、に書きなさい。

① ^ 借りる ^

えんぴつを忘れたのなら ば

いい。

② ^ 食べる ^

ラーメンを ます。

③ ^ 続く ^

このゲームをまだ よう。

④ ^ 使う ^

インターネットは気を付けて なければいけない。

④ 次の文の□の中にあてはまる漢字を、【意味】に合うように後の「ー」から選び、書きなさい。□の中にはすべてちがう漢字が入ります。

① 花を持たせる

【意味】人に勝ちや名誉をゆずり、相手を立てること。

② 足を洗う

【意味】悪事をやめ、正しい生活にもどること。

③ 目もくれない

【意味】何にも興味を示さず、見向きもないこと。

④ 水に流す

【意味】過去に起きたいやなことをなかつたことにすること。

⑤ 火の車

【意味】やりくりにこまっていること。

〔 水 手 目 花 足 火 風 〕

⑤ 次の文の□の中にあてはまる語を、後の「ー」から選び、書きなさい。□の中にはすべてちがう語が入ります。

昔は、利根川と荒川の二つの川が合わさり、

一つの川になって海に流れていました。また、

これらの川にそって、たくさん沼が広がっ

ていました。そのため、大雨が降ると、川の

水があふれ、埼玉県は水害になることがありました。

そこで、人々は堤防をつくるなどして、洪水を

ふせこうとしました。

(「わたしたちの郷土さいたま」より一部抜粋)

〔 で が に を の と 〕

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

みなさんは、二宮金次郎を知っていますか。

少し前まで、多くの学校には二宮金次郎のぞうが建てて
いました。せなかにたきぎをせおって本を読んでいる子ど
ものすがたのぞうです。

金次郎は、今から二百年ほど前に、現在の神奈川県
小田原市の農家に生まれました。金次郎がおさないころ、
大きな台風によるこうずいで、家の田畑が大きなひがいを
受けました。作物を育てることができなくなって、一家の
くらしは苦しくなりました。けん命に働く両親を助けて、
金次郎も、朝は山にたきぎをとりにいき、昼は田畑で働き、
夜はわらじ作りをしました。その合間に、本を読み勉学に
もはげみました。

このようなしせい、生き方を学ぼうと、たくさんの学校
に金次郎のぞうがつくられたのです。

やがて、大人になった金次郎は、桜町というちいきの
人々のくらしをたて直すという仕事をたのまれました。そ
れは、とてもむずかしい仕事でした。

金次郎は、家々を一けんずつたずね歩き、人々のくらし

ぶりをくわしく調べ、みんなで働くことのすばらしさを語
っていきました。

しかし、たて直しの計画は、なかなか思うように進みま
せんでした。金次郎のやり方になつとくしない人や不満を
言う人も少なくなかったのです。なやんだ金次郎は、「こ
の仕事は自分の手には負えない。」と一時はあきらめかけ
ました。

それでも、苦しいくらしをしている人々を第一に考え、
十年かけて、桜町の人々と田畑や用水路を整える仕事を
進めました。そして、しゅうかくをふやして、人々のくら
しをゆたかにしていったのです。金次郎の働きに多くの
人がよろこびました。

その後も金次郎は、六百以上もの村の立て直しに力を
くしました。

「一生けん命働いて、周りの人や世の中の役に立つこ
と。」

これは二宮金次郎が大切にしてきた考えです。今でも多
くの人が、金次郎の功績から働くことのすばらしさを学ん
でいます。

問1 にのみやきんじろう 二宮金次郎は今から何年ほど前に生まれましたか。

当てはまる漢数字を文中から抜き出して書きなさい。

二
百

年ほど前

問2 たくさんの学校に金次郎の何ができましたか。文中

から抜き出して書きなさい。

金次郎の

ぞ
う

問3 さくらまち 桜町というちいきの ひとびと 人々のくらしをたて直す仕事は、

きんじろう 金次郎にとってどんな仕事でしたか。文中から抜き

出して書きなさい。

と
て
も
む
ず
か
し
い

仕事

問4 きんじろう 金次郎は家々をたずね歩き、ひとびと 人々のくらしぶりをく

わしく調べ、みんなで働くことの何を語っていきま
したか。次のア～エの中から一つ選_二び、記号で書き
なさい。

- ア つまらなさ
- イ みすぼらしさ
- ウ すばらしさ
- エ たのしさ

ウ

問5 きんじろう 金次郎は さくらまち 桜町の人々と何や何を整える仕事を進めま

したか。文中から抜き出して書きなさい。

田
畑

や

用
水路

問6 きんじろう 金次郎が大切にしてきた考えは何ですか。文中から

抜き出して書きなさい。

一生けん命働いて、

の	周
役	り
に	の
立	人
っ	や
こ	世
と	の
	中

7 国語辞典の使い方について後の問いに答えなさい。

問1 次の の中は国語辞典の一部です。①～④は後の

説明ア～エのどれに当てはまるか、記号で書きなさい。

い。

さむい **【寒い】** ① 気温が低く感じられる。②
 「今日は寒い」 ③ ↓暑い ④

(説明)

ア 反対の意味の言葉

イ 言葉の意味

ウ 漢字を使った書き表し方

エ 言葉の使い方

①	ウ
②	イ
③	エ
④	ア

問2

の中の言葉を、国語辞典で見出し語の順番に並べた時、**三番目**になる言葉を例にならって ()

に○を書きなさい。

例			
() くも	(○) つき	() たいよう	() ほし

①			
() なつ	() あき	(○) はる	() ふゆ

②			
() 正体	(○) 少数	() 習字	() 宿題

③			
() タンク	() タートル	() ターソン	(○) タルト

次の文章は『かぜ薬』の使用上の注意です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

<効能>

かぜの諸症状（せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和*

<用法・用量>

1日3回食後30分以内に水又はぬるま湯で服用してください。

15歳以上・・・2錠

12歳以上15歳未満・・・1錠

12歳未満・・・服用しないこと

<注意>

1. 次の人は服用前に医師に相談してください。

(1) 医師の治療を受けている人。

(2) 高齢者。

(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(4) 妊婦または妊娠していると思われる人。

2. 直射日光の当たらない湿気の少ない所に保管してください。

3. 使用期限の過ぎた製品は服用しないでください。

*緩和：今よりも状態や程度をやわらげること

問1 この薬を服用することで緩和できるかぜの諸症状

を本文にある中から二つ選んで抜き出して書きなさい。

せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛みの中から2つ

問2 この薬はどのように服用すればよいでしょうか。次の

ア～エの中から一つ選び記号で書きなさい。

ア 一日三回食後三十分以内にジュースで服用する

イ 一日二回食後一時間以内に水又はぬるま湯で服用する

ウ 一日三回食後三十分以内に水又はぬるま湯で服用する

エ 一日三回食前にジュースで服用する

ウ

問3 高齢者の場合、この薬を服用する前に、どうしたら

よいでしょうか。本文中の言葉を使って書きなさい。

医師に相談する

問4 使用期限きげんの過ぎすた製品せいひんはどうしたらよいでしょうか。
本文中の言葉を使って書きなさい。

服用しない

【問題はこれで終わりです】

